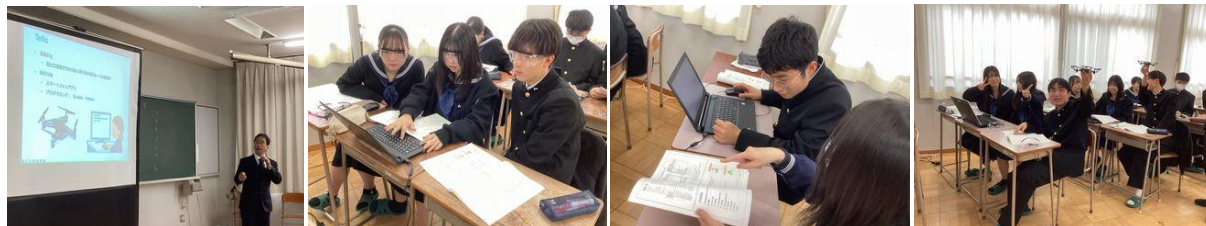


プログラミング講座

12月10日(火)に、金沢大学理工研究域フロンティア工学系の軸屋一郎先生を講師に迎え、前半はプログラミング(プログラミング言語は「Python」を使用)についての講義と、実際にプログラミングをして、ドローンを飛行制御する実習を行い、後半は画像解析と顔認識に関するプログラミングをドローンの操作と組み合わせ、人工知能の体験も行いました。



生徒の感想

- プログラミングを作るときは少しのスペルミスで正しく動かなくなってしまうことがあったため、注意して取り組みたい。
- プログラミング講座では、プログラムを組み合わせることによって機能が拡張されるということを知れました。プログラムを組み合わせ、ますます高機能のものが作られていくのはおもしろいし、すごいと思いました。
- 機械や AI などいろいろな制御をするプログラミングを組み合わせることによって、使いやすい便利なものになっているとわかった。
- もっといろんな動きのプログラムを書いてみたいと思いました。

いしかわ高校科学グランプリ 3位入賞

10月19日(土)に、美川スポーツセンターで、「いしかわ高校科学グランプリ」が行われました。これは石川県教育委員会の主催で、県内の科学好きの生徒が一堂に会し、競い合う場を設けることで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層の応用力や実践力を伸ばしながら、科学教育のレベルアップを図ることを目的として実施されているものです。また、この大会は「第14回科学の甲子園全国大会」の石川県代表選考会も兼ねています。

1年生理数科チーム
「ゆかいななかまたち」



藤本さん、松永さん、前田さん
瀬口さん、室峰さん、町岡さん、中村さん

筆記競技(60分、物・化・生・地・数・情の12題)、実技競技:総合系(210分1題)を各グループで協力して課題にあたります。本校からは6チームが参加しました。

本校は、1年生理数科の「ゆかいななかまたち」が実技競技:総合系で優勝、総合成績で3位になることができました。

今年は健闘及ばなかったチームも来年また是非頑張りたいと思います。

第7回環境 DNA 学会 (つくば大会)

11月30日(土)に、オンライン開催された「第7回環境 DNA 学会(つくば大会)」で発表した、本校 SSC の研究『環境 DNA による能登地域の河川の魚類相調査』が、優秀賞を受賞しました。

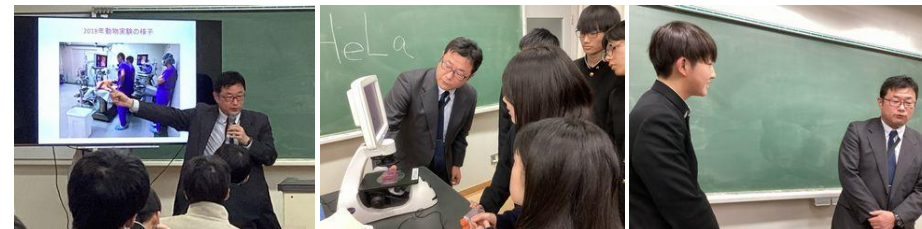
自然科学研究 I (第1学年理数科)

「最先端医療」(12月13日)

1年生理数科生徒に対して、「自然科学研究 I」で、「最先端医療」のユニットとして、金沢医科大学総合医学研究所の石垣教授による「細胞治療の現場と今後の展望」の講義が行われました。

このユニットは、第一線の研究者による講座を通して、医学の最先端について学習し、生命現象について理解を深め、科学的な視野を養うことを目的として、毎年行われています。

講義では、細胞やその仕組みについて、わかりやすく説明くださり、生徒も質問をしていました。



金沢さん、浅田さん、山口色葉さん、
竹澤さん、延田さん、田中さん